※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)社会総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会科の科目のなかで地理（日本編・世界編）、世界史、日本史、政治・経済を幅広く学習して、最終的には社会的な視野や思考力を養うことを目的としている。また、基礎的な知識を応用して現在、世界で起こっている事象などを考察する能力も育成する。

２　学習の到達目標

⑴社会的事象について、日本や世界の地理的な見方・考え方に根ざした追及の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を解決するための思考力を養う。
⑵古代から近現代への歴史の変化について理解し、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる知識の習得と多角的な思考力を養う。
⑶現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して社会参画を視野に入れながら構想したこと議論する力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・社会科の地理や歴史、現代社会で起こっている事象に関して、日本と世界を結び付けて理解している。 ・資料に基づいて、そこから読み取れる事実から日本や世界の事象を理解している。	・社会科の地理や歴史、現代社会で起こっている事象に関して、それぞれの関連性を考察して表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取れる情報の意味や意義を表現している。	・社会科の地理や歴史、現代社会で起こっている事象を横断的に学習し、日本と世界を関連させて学ぶことの意義や目的などを主体的に理解し、深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	日本の地理	第1章　日本の地理 1、日本の地形と地体構造 2、日本の自然環境･地震 3、日本の公害 4、世界人口と日本人口 5、日本の地域　東北地方 6、日本の地域　関東地方 7、日本の地域　中部地方 8、日本の地域　四国地方	a: 日本の地理的な特徴について、図や映像、資料などを用いて、そこから得られる地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 b:日本の地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらをもとに議論したりする力を養う。 c:日本の地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養い、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。	定期考査	課題提出 小テスト	ノート提出 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	世界地理と世界の歴史	第２章　世界地理と世界歴史 1、世界地図と地球儀 2、世界の国々（アジア編） 3、世界の国々（アフリカ編） 4、世界の歴史（古代文明） 5、世界の歴史（東西アジア） 6、世界の歴史（東南アジア） 7、世界の歴史（アフリカ） 8、世界の歴史（アジア民族運動）	a：世界の地理的な特徴について、図や映像、資料などを用いて、そこから得られる地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。また、日本が世界の歴史とつながっていることを理解している。 b：世界の地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらをもとに議論したりする力を養う。また、世界の歴史の変化と，日本と世界の歴史との関連性について考察し，表現している。 c：世界の地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養い、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。	定期考査	課題提出 小テスト	ノート提出 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	日本の歴史と政治経済	第３章　日本の歴史と政経 1、縄文時代から飛鳥時代 2、奈良時代から鎌倉時代 3、室町時代から安土桃時代 4、江戸時代 5、明治時代から昭和時代 6、議会制民主主義と国会 7、国会と内閣	a:日本の歴史に関して、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。また、社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する。 b:日本の古代から近代にいたるまで国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現している。 c:日本の歴史を学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。 また、社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	課題提出 小テスト	ノート提出 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度